

令和6年度の健康づくりに関する活動計画

1 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座

事業名	小規模事業所外国人労働者の健康増進
事業内容	外国人労働者が勤める小規模事業所における定期健康診断の受診状況と労災二次健康診断の活用状況を調査する。
特記事項	
他機関・団体との連携状況	国立国際医療研究センター国際医療協力局との共同調査を計画している
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	青森県総合健診センターとの連携希望します。外国人労働者の定期健康診断の受診状況と中小企業とりわけ小規模事業所の外国人労働者の労災二次健康診断の利用状況についての意見交換。
飲酒対策に関する取組	

2 青森県立保健大学

事業名	以下、別紙参照
事業内容	
特記事項	
他機関・団体との連携状況	
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	
飲酒対策に関する取組	

【別紙】

令和6年度健康づくりに関する活動計画			
No.	時期	事業名	実施内容
1	令和6年4月～令和7年3月	第2期プロジェクト型研究	地域の健康課題を解決するために、様々な連携の下で、様々な専門性を有する研究者・専門職等が協力しながら、研究プロジェクトを実施します。若手研究者や大学院生の育成と社会実装・地域還元を重視した活動を目指します。 令和5年5月下旬に審査があり1件が採択され、研究実施中。
2	令和6年4月～令和7年3月	ヘルスプロモーション戦略研究	ヘルスプロモーション戦略研究とは、青森県立保健大学の教員が行う研究で、社会における保健、医療及び福祉分野の向上（ヘルスプロモーション）に資する課題についての単独または複数の研究者による研究です。令和6年度は、別紙「R06 学内研究費採択課題一覧」にある7件の課題が採択され、研究が進められています。 令和6年4月に審査、研究開始は5月中旬。
3	令和6年4月～令和7年3月	若手・大学院生奨励研究	若手・大学院生奨励研究とは、青森県立保健大学の若手研究者（助教、助手又は実験実習助手）及び大学院生が1人若しくは、複数で行う研究で、将来的な発展が期待できる優れた着想をもつ研究で、分野に関わらず、本学の教育・研究の資質向上、地域との連携や課題解決など社会に広く貢献・還元しうる研究です。 令和6年度は、別紙「R06 学内研究費採択課題一覧」にある16件の課題が採択され、研究が進められています。 令和6年4月に審査、研究開始は5月中旬。
4	令和6年4月～令和7年3月	ヘルスプロモーション実践活動	ヘルスプロモーション実践活動とは、青森県立保健大学の教職員または大学院生が行う実践活動で、「ヘルスプロモーション」を地域社会において展開することを目的とし、教育的配慮の下に学部学生が積極的に参画することが望まれる活動です。 令和6年度は、別紙「R06 学内研究費採択課題一覧」にある4件の課題が採択され、活動が進められています。 令和6年4月に審査、活動開始は5月中旬。

5	令和6年4月～令和7年3月	健康科学部共通教育	<p>【中期計画】</p> <p>主に「統合的実践力」を育成するために、地域課題であるヘルスリテラシーの向上を核とし、多職種と協働できる実践力を育成するために、4学科混合でのディスカッションを主体とした実践教育を行う。</p> <p>学部共通科目運営部会を随時開催し、同科目の準備や運営の状況を相互確認するとともに、「統合的実践力」を育成できる教育内容・方法となっているかを見直し、必要な場合に改善を図る。</p> <p>学部共通科目の教育効果を評価するための学生アンケートを実施し、その分析結果を学部共通科目の改善に活用する。</p>
6	令和6年4月～令和7年3月	大学院生の教育と研究推進（博士前期課程）	<p>【中期計画】</p> <p>健康科学研究に関わる基盤的知識、研究創造力、研究倫理を高める教育を行う。また、地域の健康課題の解決に資する科目の開講などにより、地域特性を踏まえた保健、医療及び福祉における健康課題の解決に資する高度な研究能力及び実践能力の向上を目指した教育を行う。</p> <p>学術集会や研究会等での研究成果の発表を推進する。また、健康課題の解決に繋がる具体的成果や知的財産等の地域社会への還元を推進する。</p> <p>【年度計画】</p> <p>○ 基盤科目の充実と地域の健康課題の解決に資する教育の充実・改善</p> <p>基盤科目において公衆衛生学をはじめとする健康科学研究に関わる高度な見識を育成するための基盤となる科目を引き続き充実させる。</p> <p>大学院生の研究倫理をより高めるために、研究センターと協力して「研究倫理教育の基本方針」に沿って研究倫理の意義などを周知するとともに、研究倫理eラーニングの受講を継続的に促す。教育・研究の質の保証を確保する一環として、各学位課程（CNSコースを含む）のディプロマ・ポリシーに基づく、学修到達度の目標や到達度の基準・評価方法等を明確にする。教員が研究指導を担当する大学院生の学修や研究状況を把握し、助言等をできるように明文化した「研究指導計画書（授業・研究指導ポートフォリオ）」の活用を推進し、必要に応じて評価・改善等を行う。</p> <p>教育や研究指導体制を強化・充実するために、厳正な審査を通して論文指導担当教員を増員する。</p> <p>○ 研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進</p> <p>ガイダンスや研究発表会等で研究プロセス並びに学会発表・論文発表の意義付けを継続的に行い、学術学会・集会等での研究成果の積極的な発表を促進する。大学院生や若手の研究者に対して研究アイデアや研究成果の創出を支援するために、大学院と図書館あるいは研究センターとが共催して研究談話会や研修会等を開催する。大学院生の個々の研究内容を充実・深化させ、研究成果の発表・投稿</p>

			<p>をサポートするために、大学院生に対して学内の研究費助成制度や論文発表推進特別支援助成金への積極的な応募を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究成果の地域社会への還元 ガイダンスや特別研究の発表会等で社会に役立つ研究成果の意義を強調し、地域社会等への具体的成果の還元を継続的に推進する。 ○ ヘルスプロモーション戦略研究センターの研究・調査との連携の促進 研究センターが募集する「プロジェクト型研究」をはじめとする研究調査関連事業への大学院生の研究連携を引き続き、推進する。大学院生に対して研究センターが主催する研究セミナー、科研費講習会等への参加を継続的に推進する。また、青森県保健医療福祉研究発表会への参加・発表を強く促す。
7	令和6年4月～令和7年3月	大学院生の教育と研究推進（博士後期課程）	<p>【中期計画】 学際的な視点から研究を推し進めるための基盤的知識、研究創造力、研究倫理を高める教育を行う。また、地域の健康課題の解決に資する科目を開講し、地域特性を踏まえた保健、医療及び福祉における高度な研究及び人材育成能力の向上を目指した教育を行う。学術集会や研究会等での研究成果の発表を推進する。さらに、独創性のある研究論文の作成及び公表を推進する。また、健康課題の解決に繋がる具体的成果や知的財産等の地域社会への還元を推進する。</p> <p>【年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学際的視点からの地域の健康課題の解決に資する教育の充実・改善 大学院特別講義等を充実させ、地域の健康課題の解決に資する教育や研究を通じて、人材育成を継続的に推進する。大学院生の研究倫理をより高めるために、研究センターと協力して「研究倫理教育の基本方針」に沿って研究倫理の意義などを周知するとともに、研究倫理eラーニングの受講を継続的に促す。教育・研究の質の保証を確保する一環として、学位課程のディプロマ・ポリシーに基づく、学修到達度の目標や到達度の基準・評価方法を明確にする。 教員が研究指導を担当する大学院生の学修や研究状況を把握し、助言等をできるように明文化した「研究指導計画書（授業・研究指導ポートフォリオ）」の活用を推進し、必要に応じて評価・改善等を行う。 教育や研究指導体制を強化・充実するために、厳正な審査を通して論文指導担当教員を増員する。研究能力の向上のために、大学院生の研究セミナー・研修会等の情報提供及びそれらへの参加を促す。また、大学院生に対して、プレFD研修として大学教員向けのFD研修会等への参加を促す。 ○ 研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募の促進

			<p>ガイダンスや研究発表会等で研究のプロセス並びに学会発表・論文発表の意義付けを継続的に行い、学術学会・集会等での研究成果の発表を引き続き推進する。大学院生や若手の研究者に対して研究アイデアや成果の創出を支援するために、大学院と図書館あるいは研究センターが共催して、研究談話会や研修会等を開催する。大学院生の個々の研究内容を充実・深化させ、研究成果の発表・投稿をサポートするために、大学院生に対して学内の研究費助成制度や論文発表推進特別支援助成金への積極的な応募を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究成果の地域社会への還元 ガイダンスや特別研究の発表会等で社会に役立つ研究成果の意義を強調し、地域社会等への具体的成果の還元を継続的に推進する。 ○ ヘルスプロモーション戦略研究センターの研究・調査との連携の促進 研究センターが企画した「プロジェクト型研究」をはじめ、研究調査関連事業への大学院生の研究参加・連携を継続的に推進する。大学院生に対して研究センターが主催する研究セミナーや科研費講習会等への参加を継続的に推進する。また、青森県保健医療福祉研究発表会への参加・発表を強く促す。
8	令和6年4月～令和7年3月	青森県立保健大学と団体との地域連携事業	<p>本学における教育や教職員の専門的知識や技術を活かし、大学を拠点とした地域活動について、大学の教育や研究と連動した Win-Win の活動に発展するように地域住民・地域団体との協働を進める。</p> <p><令和6年度連携団体>あおもり杖なし会、子育て応援ルームココかれっじ（本学を拠点とした地域住民活動）</p> <p>上記事業内容に合致した事業や、地域の健やか力向上に積極的に取り組む機関・団体との連携を希望する。</p>
9	令和6年11月	地域包括ケア・フォーラム in 青森	<p>地域で働く保健医療福祉職が、人々の健康の増進を図るために必要な科学的知識や技術、態度を獲得でき、専門職としてキャリアアップできるよう支援を行うため、令和5年度に引き続き、「地域包括ケア・フォーラム in 青森 2024」を開催（令和6年11月6日開催予定）する。</p>

10	令和6年12月	2024年度青森県保健医療福祉研究発表会・日本ヒューマンケア科学学会第17回学術集会 合同集会	<p>i 実施時期 令和6年12月21日(土)</p> <p>ii 実施場所 青森県立保健大学(会場参集)</p> <p>iii 対象者 (1) 発表資格: 県内大学関係者、県内保健医療福祉施設職員等、県職員、日本ヒューマンケア科学学会員 (2) 一般参加: 可(事前申込制)</p> <p>iv 実施内容 基調講演、シンポジウム、口述発表、ポスター発表</p> <p>v 全体テーマ 「ヒューマンケアの落とし穴—困難へのチャレンジ」</p> <p>vi 参加費 無料 ヘルスプロモーション戦略研究センターが中心となり、県民のヘルスリテラシーの向上を目指し、自治体や団体等と連携を図りながら、学生参画型の地域活動を推進する。 地域の健康課題を見だし、その解決に資する研究や地域と連携した取り組みを学生教育に生かしていく。 併せて、大学を拠点とした地域住民、地域団体の活動を支援する。</p> <p>※日本ヒューマンケア科学学会学術集会と合同で開催する。また毎年、県内の関係職能団体へ後援を依頼している。 ※開催概要・演題募集要項等は、随時、大学ホームページ上で公表する。</p>
----	---------	---	---

3 青森県医師会

事業名	健やか力推進センター運営事業															
事業内容	<p>① QOL 健診 令和4・5年度の2年に亘り、県委託としてQOL健診県内展開検証事業を進めさせていただいたが、今年度からは単独での自走事業としての運営となる。 今年度は約100件の健診を実施予定であり、小学校等の教育機関も実施を予定している。 また、QOL健診実施後の結果説明者を養成する主旨として、結果説明者養成研修の開催、測定員の増員ならびに測定技術の練習の場の提供として、測定練習会の開催を予定している。</p> <p>② 健やか協力隊員養成研修（人材育成研修） 健やか協力隊員養成研修は、本会主催では青森市・八戸市の2ヶ所の開催を予定。弘前市をはじめ、自治体や職域における人材育成研修が今年度から拡がりを見せており、昨年度より大幅な開催が予定されている。</p> <table border="1" data-bbox="550 882 1433 1001"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>8/30（金）</td> <td>八戸市福祉公民館</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>11/19（火）</td> <td>青森県総合社会教育センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 親子体操及び親子体操普及員養成研修 青森県における子どもの健康と、働き盛り世代の健やか力（ヘルスリテラシー）向上を目指し、親子体操の更なる普及に向けて、各関係機関と連携を図りながら実施する予定である。</p> <table border="1" data-bbox="550 1229 1433 1308"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R7.1/25（土）</td> <td>八戸学院大学短期大学部</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 健やか力推進センター推進協議会 今年度は4月11日（木）に開催済である。</p>		開催日	開催場所	第1回	8/30（金）	八戸市福祉公民館	第2回	11/19（火）	青森県総合社会教育センター		開催日	開催場所	第1回	R7.1/25（土）	八戸学院大学短期大学部
	開催日	開催場所														
第1回	8/30（金）	八戸市福祉公民館														
第2回	11/19（火）	青森県総合社会教育センター														
	開催日	開催場所														
第1回	R7.1/25（土）	八戸学院大学短期大学部														
特記事項																
他機関・団体との連携状況	<p>健やか力推進センターが主催する研修会講師、QOL健診に係る専門職の派遣等については、健やか力推進センター推進協議会構成団体（あおり健やかネットワーク）にご協力を頂いている。 また、自治体や弘前大学COI、報道機関とも連携を図り、QOL健診の普及・啓発を行っている。 今後も青森県民の健やか力（ヘルスリテラシー）向上のため、関係機関と更なる連携強化に努める所存である。</p>															
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	<p>青森県内において、健康づくりを担う人材の有効的な活用及び自発的な活動の推進について、自治体及び市民団体、企業との更なる連携を希望している。</p>															
飲酒対策に関する取組	<p>QOL健診実施後の結果説明時の講義において飲酒と生活習慣病との繋がりや対策について説明を行っている。その他、健やか協力隊員養成研修をはじめ、他研修会においても飲酒と生活習慣病について、講義を実施している。</p>															

事業名	令和6年度青森県糖尿病対策推進会議
事業内容	i 実施時期 令和5年9月12日(木) ii 実施場所 青森県医師会館、 iii 対象者 糖尿病専門医等 iv 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・世界糖尿病デーイベント等についての協議 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて ・その他
特記事項	
他機関・団体との連携状況	会議役員を下記団体等から推薦いただいている。 日本糖尿病学会東北支部、青森県糖尿病協会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県看護協会、青森県栄養士会、青森県

事業名	世界糖尿病デーに対する啓発活動
事業内容	実施時期 R06.11.14 ii 実施場所 アスパム他 iii 対象者 一般県民 iv 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・県内各地で世界糖尿病デー関連イベント、研修会等の実施、ブルーライトアップ
特記事項	
他機関・団体との連携状況	青森県糖尿病対策推進会議役員が所属する団体(上記参照)にご協力いただいている。

事業名	青森県医師会禁煙推進委員会
事業内容	i 実施時期 9月第1回禁煙推進委員会を実施予定 令和7年2月 第2回 〃 委員会を実施予定 ii 実施場所 青森県医師会館 (WEBでのハイブリッド開催) iii 対象者 本会会員等 iv 実施内容 世界禁煙デー(5/31)に向けた活動の協議 <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙教育・啓発活動について ・会報等への記事掲載について イエローグリーンライトアップ全国キャンペーンへの協賛・協力
特記事項	
他機関・団体との連携状況	
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	今後は県や県薬剤師会等、関係機関との連携・協力関係を築いていきたい。

4 青森県歯科医師会

事業名	フッ化物塗布事業
事業内容	実施時期 令和6年度 実施場所 ①県内各地区 ②大間町 対象者 ①一般県民 ②大間町にある保育園、幼稚園園児 実施内容 ①県内各地で無料フッ素塗布を行う ②無料フッ素塗布を行い、歯科健診データを経年で調査する。
特記事項	

事業名	成人歯科健診充実強化事業
事業内容	① 歯科健診充実強化事業・定着検討委員会 実施時期 令和6年度 実施場所 青森県歯科医師会館 対象者 会員歯科医師 実施内容 本事業の企画運営及び歯科保健医療における歯周疾患等の検討 ② 歯科健診推進・定着事業 実施時期 令和6年度 実施場所 県内 対象者 一般県民 実施内容 イベント等での歯科健診の推進 ③成人歯科健診受診向上のための普及啓発 対象者 県内高等学校卒業生 実施内容 高等学校卒業生へ継続的な歯科健診受診の為のツールお口の健康手帳を贈呈
特記事項	イベントの実施については情勢を鑑みて検討する。

事業名	在宅歯科医療連携室整備事業
事業内容	①相談・調整業務の実施 実施時期 通年 実施場所 青森県歯科医師会館 対象者 介護関係者 実施内容 郡市歯科医師会単位で定めた担当歯科医師による受診に向けた相談・連絡調整等 ② 在宅歯科医療連携室整備事業運営協議会 実施時期 令和6年度 実施場所 青森県歯科医師会館 対象者 会員歯科医師 実施内容 相談・調整業務の事例検討等 ③在宅歯科診療用機材等の貸出 実施時期 通年 実施場所 県内全域 対象者 在宅歯科医療を行う歯科診療所等 実施内容 ポータブルユニット、ポータブルX線システム、歯科支援車の貸出 ④ 在宅歯科医療連携室に関する普及啓発 実施時期 令和6年度 実施場所 県内 実施内容 在宅歯科医療連携室に関するリーフレットの作成・配布 オーラルフレイル、連携室の紹介等にかかる啓発動画の配信

	在宅歯科医療連携のための医療・介護関係者等を対象とした研修会の開催
特記事項	

事業名	青森県糖尿病と歯周病に関する県民公開講座
事業内容	
特記事項	令和3年度に制作した動画を現在も配信中。 がん・生活習慣病対策課と協力し、周知に努めている。

5 青森県薬剤師会

事業名	健康介護まちかど相談薬局事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> i 実施時期 通年 ii 実施場所 健康介護まちかど相談薬局 県内約300薬局 iii 対象者 一般県民 iv 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症早期発見（脳の健康チェックリスト） ・介護予防（基本チェックリスト） ・心の悩み相談（ゲートキーパー事業） ・禁煙サポート ・血圧測定等健康相談 等 v 健康介護まちかど相談薬局を対象とした研修会を開催予定
特記事項	
他機関・団体との連携状況	研修会にて歯科医師会や理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会等、各団体に講師を依頼しております。
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	より一層の活用が図られるよう、各団体での周知をお願いしたい。
飲酒対策に関する取組	児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教室や各地区でのイベント開催時等にて、パッチテストや「飲酒」について啓発活動を行っている。

事業名	病床機能転換専門研修
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> i 実施時期 令和6年9月8日（日） ii 実施場所 青森市（ハイブリッド開催） iii 対象者 薬剤師、看護師、介護支援専門員、地域包括支援センター職員等、医療・福祉関係者 iv 実施内容 <p>「臨床現場における薬物治療や栄養管理などの実践について」をテーマとして、これから迎える超高齢化社会において多職種で情報共有する事により、連携して患者様の服用薬剤の適正使用に繋げていくことを目的として開催。</p>
特記事項	

6 青森県看護協会

事業名	令和6年度「看護の日・看護週間」事業
事業内容	<p>(1) 看護の日イベント「看護の出張教室」の実施 対象：園児 期日：令和6年4月16日(火)～7月3日(水) 場所：青森県内保育所等 36施設 内容：「看護体験」「かんごの絵本動画鑑賞」</p> <p>(2) 「みんなで話そうー看護の出前授業」の実施 対象：中学生・高校生 期間：6月～随時 場所：申込みの学校 内容：「いのちの大切さ」「看護職の仕事」「看護職への道」 「簡単な看護技術の体験」等から希望の授業</p>
特記事項	特になし
他機関・団体との連携状況	特になし
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	現状では、特になし。
飲酒対策に関する取組	特になし。

7 青森県栄養士会

事業名	普及啓発事業
事業内容	<p>i 実施時期 通年 ii 実施場所 県内 iii 対象者 一般県民 iv 実施内容 ・各市町村主催の健康まつりやイベントに参加し、栄養相談コーナー、減塩コーナー、バランス食の展示等を用い、健康日本21(第三次)、第三次青森県健康増進計画の普及推進を中心とした活動を展開。</p>
特記事項	減塩レシピをホームページへの掲載等により啓発
他機関・団体との連携状況	市町村健康まつりやイベントの実施状況に応じて参加
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	市町村健康まつりやイベントの実施の際には、参加を希望
飲酒対策に関する取組	適正飲酒の大切さの資料展示等

事業名	あおり栄養ケア・ステーション 無料栄養相談 (HP)
事業内容	i 実施時期 通年(HP は随時) ii 実施場所 栄養士会事務所 iii 対象者 一般県民 iv 実施内容 ・子どもから高齢者まで、肥満、糖尿病などの病態の食事も含め広く食についての相談を行う。
特記事項	経年どおり
他機関・団体との連携状況	

事業名	あおり栄養ケア・ステーション 紹介事業
事業内容	i 実施時期 通年 ii 実施場所 県内市町村 iii 対象者 市町村、医療機関、関連団体 iv 実施内容 ・ケア・ステーション登録栄養士を講演会、調理実習等に講師として紹介。 ・管理栄養士不在の診療所に非常勤の管理栄養士を紹介。
特記事項	経年どおり
他機関・団体との連携状況	

事業名	栄養学術研究会、生涯教育研修会、あおり栄養ケア・ステーションスキルアップ研修会、初任者研修会、その他各地区・各職域研修会
事業内容	i 実施時期 通年 ii 実施場所 県内全域 iii 対象者 管理栄養士、栄養士(一部会員のみの研修会あり) iv 実施内容 研修会を通して、管理栄養士・栄養士が専門性を高め、栄養・食生活等に関する正しい知識、新しい情報等を取り入れ資質の向上を図り人材を育成。
特記事項	研修会によってオンライン研修も併催
他機関・団体との連携状況	

事業名	通所型介護予防事業業務 (平川市)
事業内容	i 実施時期 通年 ii 実施場所 平川市 iii 対象者 平川市の二次予防対象者 iv 実施内容 ・栄養改善や自立した生活の確立と自己実現のための支援。
特記事項	経年どおり
飲酒対策に関する取組	適正飲酒についての栄養指導も継続

事業名	アスリートプログラムサービス栄養指導業務事業
事業内容	i 実施時期 通年 ii 実施場所 マエダアリーナ iii 対象者 運動する学生・社会人 iv 実施内容 ・食事摂取調査を基にした栄養指導。
特記事項	経年どおり
他機関・団体との連携状況	
飲酒対策に関する取組	適正飲酒についての栄養指導も継続

事業名	青森市特定保健指導
事業内容	i 実施時期 通年 ii 実施場所 元気プラザ、ウイング青森、浪岡総合保健福祉センター iii 対象者 青森市民(国保) iv 実施内容 ・「ジムでさっぱりコース」「浪岡でたっぷりコース」における特定保健指導、積極的支援、動機づけ支援。
特記事項	経年どおり
他機関・団体との連携状況	
飲酒対策に関する取組	適正飲酒についての栄養指導も継続

事業名	「岩木健康増進プロジェクト健診」等協力
事業内容	i 実施時期 5月～6月 ii 実施場所 弘前市岩木地区 iii 対象者 近隣住民 iv 実施内容 ・内臓脂肪測定器を使って、内臓脂肪量により健康状況を測定。
特記事項	経年どおり
飲酒対策に関する取組	

事業名	栄養ケア活動支援整備事業
事業内容	i 実施時期 通年 ii 実施場所 県内 iii 対象者 管理栄養士、栄養士 iv 実施内容 ・地域包括支援システムへ管理栄養・栄養士が参画し、栄養ケアを充実させるための研修会を開催。
特記事項	経年どおり
飲酒対策に関する取組	研修内容に適正飲酒についての栄養指導も継続して行う

8 青森県総合健診センター

事業名	がん検診受診勧奨事業
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各市町村へ、がん検診受診率向上リーフレットを作成、無償で配布する。 2. 各市町村へ、がん検診受診者への説明リーフレットを作成し、無償でデータ提供する。 3. 健康まつり等のイベントへ参加し、がん検診の必要性を周知する。 4. 9月のがん征圧月間にあわせ、がん検診啓発の新聞広告を掲載
特記事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. は、がん検診受診率向上を目的とし作成。前立腺がん検診あり・なし2種類を作成し提供している。 2. は、事業評価のためのチェックリストに対応したがん検診受診者への説明リーフレットであり、カラー版・白黒版に各市町村名を入れて、データ提供している。
他機関・団体との連携状況	
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	
飲酒対策に関する取組	<p>運転前後運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行い、記録を一年間保存している。</p>

※詳細は添付資料参照

がん検診を受診されるみなさまへ

国が推奨しているがん検診は、科学的に有効性が認められたものです。
正しく理解し、受診しましょう。

がん検診のメリットとデメリット

メリット

- ・最大の利益は、早期のがんを見つけ、早めに治療を行うことで、がんによる死亡率を低下させることです。
- ・がん以外の病気も見つけることができ、治療に結びつけられます。
- ・がん検診の結果、「異常なし」と判定されれば安心して生活することができます。
- ・その他の利益としては、対象となるがんの罹患率の減少、早期発見による生活の質(QOL)の改善、治療する範囲の軽減、医療費が安くすむことなどがあげられます。

デメリット

- ・がん検診でがんが100%見つかるわけではありません。(偽陰性)
- ・がんがなくても検診の結果「陽性」となる場合もあります。(偽陽性)
- ・結果的に不必要な治療(過剰診断)や検査を招く可能性があります。
- ・検査に伴う偶発症(事故、副作用等)の問題があります。
- ・受診者の精密検査が必要なことにより、不安を感じるなど心理的影響があります。

日本のがん統計

がんの死亡数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

令和3年(2021)人口動態統計

がんの罹患数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
前立腺	大腸	胃	肺	肝臓	
乳房	大腸	肺	胃	子宮	
大腸	肺	胃	乳房	前立腺	

全国がん罹患データ(2019年)

下記のがん検診は、死亡率減少効果があることが認められています。

定期的な検診を心がけ、確実に受診しましょう

胃がん検診	毎年受診 2年に一回	胃部エックス線検査*1 胃部内視鏡検査	胃がんは罹患数・がん死亡の上位に位置しており、定期的な検診が重要です。
大腸がん検診	毎年受診	便潜血検査(2日法)	大腸がんは日本人に増えており、がん死亡の上位に位置していますので、定期的な検診が重要です。
肺がん検診	毎年受診	胸部エックス線検査 及び喀痰細胞診*2	肺がんは喫煙との関連が強く、肺がん死のうち、男性70%、女性20%は喫煙が原因だと考えられていますので、禁煙とたばこの煙を避けることが有効です。
乳がん検診	2年に一回	乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)	乳がんは近年、女性におけるがん死亡の上位となっており、定期的な検診、日ごろから自分の乳房の状態に関心を持って生活するブレスト・アウェアネスを心がけましょう。
子宮頸がん検診	2年に一回	子宮頸部の細胞診	子宮頸がんの罹患は比較的多く、近年増えています。検査結果は「異常なし(精密検査不要)」、「要精密検査」等の区分で報告されます。

*1 当分の間、40歳以上に対し、年一回実施可

*2 50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方が対象

症状がある場合は必ず医療機関を受診し、医師に診てもらいましょう。

市町村・公益財団法人 青森県総合健診センター

今回の検診の結果、「**要精密検査**」となった場合は、**必ず医療機関で精密検査を受けましょう。**

精密検査の方法

○ 胃の精密検査

胃内視鏡検査を行います。必要に応じて、細胞組織をとり、がんかどうかを調べる生検を行います。

胃内視鏡検査：胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。麻酔や胃の動きを抑える注射をして、内視鏡を口や鼻から挿入します。

○ 大腸の精密検査

第一選択は全大腸内視鏡検査です。場合によっては、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用で行うことがあります。

※便潜血検査の再検は不適切です。

全大腸内視鏡検査：大腸すべてを内視鏡で観察する方法です。事前に下剤を服用し、肛門から内視鏡を挿入し検査します。

注腸エックス線検査：事前に下剤を服用し、肛門からチューブを挿入してバリウムと空気を注入し、大腸のエックス線写真を撮影します。

○ 肺の精密検査

胸部CT検査や気管支鏡検査で行います。

※喀痰検査で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検は不適切です。

胸部CT検査：CTスキャナーと呼ばれる検査装置の寝台に横になり、胸部のエックス線写真を撮影します。

気管支鏡検査：気管支鏡を口から気管支に挿入して、直接観察します。必要に応じて細胞を採る検査をすることがあります。

○ 乳房の精密検査

マンモグラフィの追加撮影、乳房超音波検査、MRI、CT、穿刺吸引細胞診や針生検等を行います。

マンモグラフィ：詳しく観察するため、多方向からエックス線撮影をします。

乳房超音波検査：超音波により詳しく観察します。

乳房MRI検査：寝台に横になり、強力な磁石でできた筒の中で、磁気の力を利用して撮影する検査です。

穿刺吸引細胞診、針生検：しこりなど疑わしい病変が見つかった場合、細い注射針を刺して中の細胞や組織を採取して調べます。

○ 子宮の精密検査

コルポスコープ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施します。

コルポスコープ：子宮頸部の粘膜表面を拡大し、細かい部分を観察できる医療器械です。観察と同時に粘膜の組織を採取して検査します。

組織診：疑わしい部分から組織を採り、標本をつかって顕微鏡で診断します。

・ 医療機関で受診した精密検査結果は検診機関と市町村で共有いたします。

※ 精密検査結果は、個人の同意がなくても、市町村や検診機関に対して提供できる個人情報保護法の例外事項として認められています。

がん検診の種類

胃がん検診

胃部エックス線検査

胃の小さな病変を診断する検査です。バリウムと発泡剤を飲んで、胃の様子をエックス線で撮影し、検査します。



子宮頸がん検診

細胞診

子宮頸部の細胞を検査用のブラシでこすり取って採取し、顕微鏡で調べる「細胞診」を行います。



大腸がん検診

便潜血検査

自分でできる簡単な検査で、2日間の便を取って提出します。目に見えない出血の有無を調べます。正しく調べるために、採便棒でまんべんなく、便の表面をこすり取ります。



肺がん検診

胸部エックス線検査

肺全体をエックス線で撮影し、検査します。

喀痰検査

問診等による該当者には喀痰検査を併用します。3日間痰をとり、がん細胞がまじっていないか顕微鏡で調べます。



その他：前立腺がん検診

血液検査

前立腺から分泌されるPSAという物質の濃度を検査します。

*お住まいの地域によっては前立腺がん検診を実施していない場合があります。詳しくは市町村役場へお問い合わせください。



乳がん検診

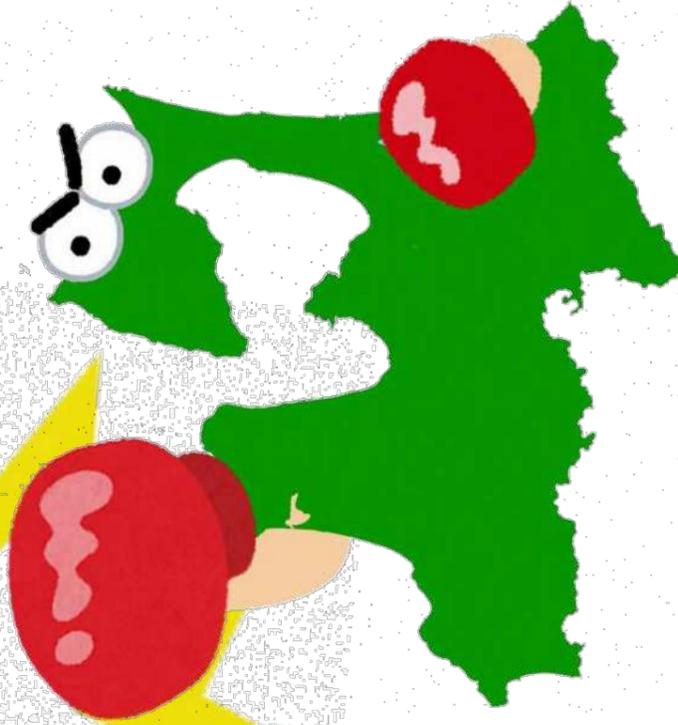
乳房エックス線検査

乳房を板状のもので挟み、できるだけ平たくして撮影します。触ってもわからない小さなしこり等を見つけることができる検査です。

がん検診のご案内

青森県

脱！短命県人！！



必ず受けよう がん検診！

がんは、早期に見つけることが大切であり、発見が遅れるほど治療が困難になります。定期的にごがん検診を受けましょう。

検診の結果は、精度が高く信頼できるものをお届けしています

青森県総合健診センターでは、弘前大学医学研究科を中心として、それぞれの分野を専門にしている医師と連携し、検査の信頼性の確保に努めています。みなさまの健康のために、**精度の高い信頼性のある結果をお届けしています。**



公益財団法人 青森県総合健診センター

青森市佃二丁目19-12

電話 017-741-2336 FAX 017-741-2386

附属あおもり人間ドックセンター 電話:017-765-2570 附属あおもり健康管理センター 電話:017-773-6011

公益財団法人 青森県総合健診センター

脱・短命県

年代別～がん

40代 がんが増え始める40代。健康を守る上でも、
自覚症状が出る前の検診が大事です。 ※注

男性
(毎年受診)



女性
(毎年受診)



(2年に一度)

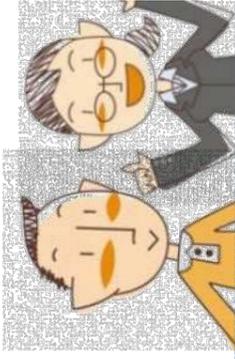


50代 食事や運動などの生活習慣に注意し、
定期的な検診を心がけましょう。

男性
(毎年受診)



女性
(毎年受診)



(2年に一度)

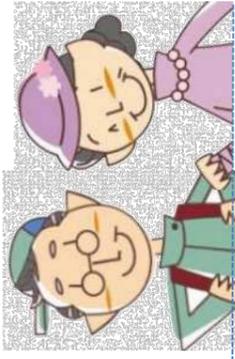


60代～ 健康な老後を過ごすためにも、定期的
がん検診を受診しましょう。

男性
(毎年受診)



女性
(毎年受診)



(2年に一度)



知って得するがん検診

胃がん検診(胃部X線検査)

胃がん検診(胃部エックス線検査)は6,600円※1かかりますが、市町村の実施する検診を受診すると助成※2が出るため、表記の自己負担で受診できます。

[A市 に住民票がある方の場合]

助成金 -5,100円^で、

1,500 円

で受診できます。

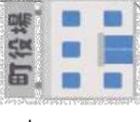


[B町 に住民票がある方の場合]

助成金 -5,100円^で、

1,500 円

で受診できます。

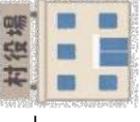


[C村 に住民票がある方の場合]

助成金 -6,600円^で、

0 円

で受診できます。



※1 金額は青森県総合健康センターで受診した場合(税込) ※2 助成については、各市町村によって異なりますので、右記を参考にお問い合わせください。

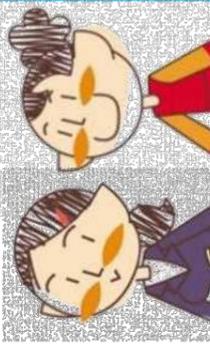
検診のご紹介～

20代・30代 20～30代は2年に一度、子宮頸がん検診を受診しましょう。

女性



(2年に一度)



住民健診の受診方法について

※注 受診については、対象となる年齢・実施時期・検査を行う場所・自己負担額等は市町村で異なりますので、詳しくはお住まいの市町村役場へお問い合わせください。

青森県市町村一覧

市町村名	担当部署	連絡先
青森市	健康づくり推進課	017-718-2918

市町村名	担当部署	連絡先
平内町	健康増進課	017-718-0019
今別町	町民福祉課	0174-35-3004
逢田村	健康福祉課	0174-27-2113
外ヶ浜町	福祉課	0174-22-2941

市町村名	担当部署	連絡先
五所川原市	健康推進課	0173-35-2111
つがる市	健康推進課	0173-23-4311
鱒ヶ沢町	ほけん福祉課	0173-72-2111
深浦町	健康推進課	0173-82-0288
鶴田町	健康保険課	0173-22-2111
中泊町	町民課	0173-57-2111

市町村名	担当部署	連絡先
むつ市	健康づくり推進課	0175-22-1111
大間町	健康づくり推進課	0175-31-0350
東通村	健康福祉課	0175-28-5800
風間浦村	村民生活課	0175-35-3111
佐井村	福祉健康課	0175-38-2111

市町村名	担当部署	連絡先
八戸市	健康づくり推進課	0178-38-0710

市町村名	担当部署	連絡先
十和田市	健康増進課	0176-51-6790
三沢市	健康推進課	0176-57-0707
野辺地町	健康づくり課	0175-64-1770
七戸町	健康福祉課	0176-68-4631
六戸町	福祉課	0176-55-3111
横浜町	健康みらい課	0175-73-7733
東北町	保健衛生課	0175-63-2001
六ヶ所村	保健相談センター	0175-72-2794

市町村名	担当部署	連絡先
弘前市	健康増進課	0172-37-3750
黒石市	健康推進課	0172-52-2111
平川市	子育て健康課	0172-55-5819
西目屋村	住民課	0172-85-2804
藤崎町	福祉課	0172-88-8197
大鰐町	保健福祉課	0172-55-7149
田舎館村	厚生課	0172-58-2111
板柳町	健康推進課	0172-73-2111

市町村名	担当部署	連絡先
おいらせ町	保健こども課	0178-56-4551
三戸町	健康推進課	0179-20-1152
五戸町	健康増進課	0178-62-7958
田子町	地域包括支援課	0179-20-7100
南部町	健康こども課	0178-60-7100
階上町	すこやか健康課	0178-88-2162
新郷村	厚生課	0178-61-7555

胃がん検診

胃部エックス線検査

胃の小さな病変を診断する検査です。バリウムと発泡剤を飲んで、胃の様子をエックス線で撮影し、検査します。



子宮頸がん検診

細胞診

子宮頸部の細胞を検査用のブラシでこすり取って採取し、顕微鏡で調べる「細胞診」を行います。



大腸がん検診

便潜血検査

自分でできる簡単な検査で、2日間の便を取って提出します。目に見えない出血の有無を調べます。正しく調べるために、採便棒でまんべんなく、便の表面をこすり取ります。



肺がん検診

胸部エックス線検査

肺全体をエックス線で撮影し、検査します。



喀痰検査

問診等による該当者には喀痰検査を併用します。3日間痰をとり、がん細胞がまじっていないか顕微鏡で調べます。



「要精密検査」という結果であれば、**すぐに医療機関で精密検査を受けてください。**

～みなさまへお伝えしたいこと～

検診の結果は、精度が高く信頼できるものをお届けしています

青森県総合健診センターでは、弘前大学医学研究科を中心として、それぞれの分野を専門にしている医師と連携し、検査の信頼性の確保に努めています。みなさまの健康のために、**精度の高い信頼性のある結果をお届けしています。**



公益財団法人 青森県総合健診センター

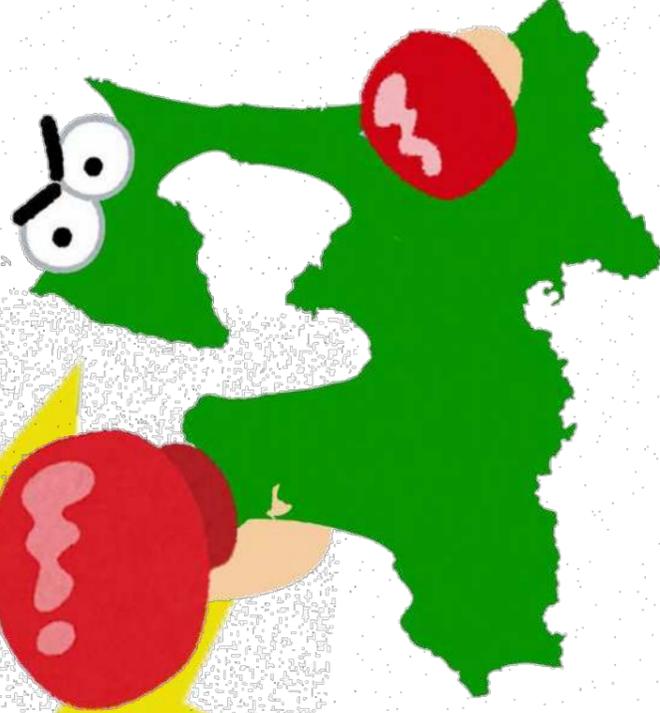
青森市佃二丁目19-12

電話 017-741-2336 FAX 017-741-2386

附属あおもり人間ドックセンター 電話:017-765-2570 附属あおもり健康管理センター 電話:017-773-6011

青森県

脱！短命県人！！



必ず受けよう
がん検診！

がんは、早期に見つけることが大切であり、発見が遅れるほど治療が困難になります。定期的にごがん検診を受けましょう。

年代別～がん

40代 がんが増え始める40代。健康を守る上でも、
自覚症状が出る前の検診が大事です。 ※注

男性
(毎年受診)



女性
(毎年受診)



(2年に一度)

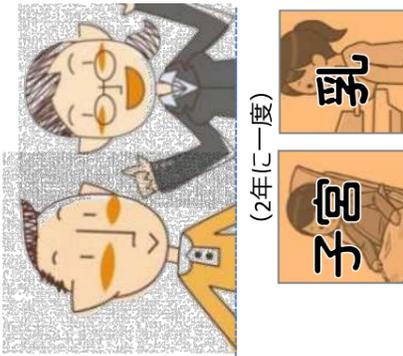


50代 食事や運動などの生活習慣に注意し、
定期的な検診を心がけましょう。

男性
(毎年受診)



女性
(毎年受診)



(2年に一度)

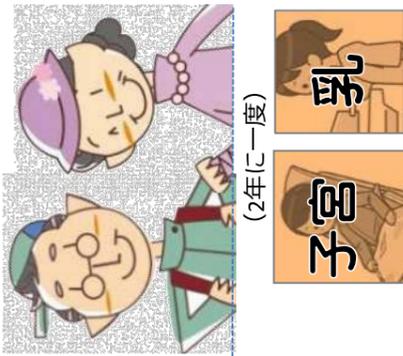


60代～ 健康な老後を過ごすためにも、定期的な
がん検診を受診しましょう。

男性
(毎年受診)



女性
(毎年受診)



(2年に一度)



知って得するがん検診

胃がん検診(胃部X線検査)

胃がん検診(胃部エックス線検査)は6,600円※1かかりますが、市町村の実施する検診で受診すると助成※2が出るため、表記の自己負担で受診できます。

[A市 に住民票がある方の場合]

助成金 **-5,100円** で、

1,500円 で受診できます。

※1 金額は青森県総合健康センターで受診した場合(税込) ※2 助成については、各市町村によって異なりますので、右記を参考にお問い合わせください。

[B町 に住民票がある方の場合]

助成金 **-5,100円** で、

1,500円 で受診できます。

[C村 に住民票がある方の場合]

助成金 **-6,600円** で、

0円 で受診できます。

検診のご紹介～

20代・30代 20～30代は2年に一度、子宮頸がん検診を受診しましょう。

女性



(2年に一度)

住民健診の受診方法について

※注 受診については、対象となる年齢・実施時期・検査を行う場所・自己負担額等は市町村で異なりますので、詳しくはお住まいの市町村役場へお問い合わせください。

青森県市町村一覧

市町村名	担当部署	連絡先
青森市	健康づくり推進課	017-718-2918

市町村名	担当部署	連絡先
平内町	健康増進課	017-718-0019
今別町	町民福祉課	0174-35-3004
蓬田村	健康福祉課	0174-27-2113
外ヶ浜町	福祉課	0174-22-2941

市町村名	担当部署	連絡先
五所川原市	健康増進課	0173-35-2111
つがる市	健康増進課	0173-23-4311
鱒ヶ沢町	ほけん福祉課	0173-72-2111
深浦町	健康増進課	0173-82-0288
鶴田町	健康保険課	0173-22-2111
中泊町	町民課	0173-57-2111

市町村名	担当部署	連絡先
むつ市	健康づくり推進課	0175-22-1111
大間町	健康づくり推進課	0175-31-0350
東通村	健康福祉課	0175-28-5800
風間浦村	村民生活課	0175-35-3111
佐井村	福祉健康課	0175-38-2111

市町村名	担当部署	連絡先
八戸市	健康づくり推進課	0178-38-0710

市町村名	担当部署	連絡先
十和田市	健康増進課	0176-51-6790
三沢市	健康増進課	0176-57-0707
野辺地町	健康づくり課	0175-64-1770
七戸町	健康福祉課	0176-68-4631
六戸町	福祉課	0176-55-3111
横浜町	健康みらい課	0175-73-7733
東北町	保健衛生課	0175-63-2001
六ヶ所村	保健相談センター	0175-72-2794

市町村名	担当部署	連絡先
弘前市	健康増進課	0172-37-3750
黒石市	健康増進課	0172-52-2111
平川市	子育て健康課	0172-55-5819
西目屋村	住民課	0172-85-2804
藤崎町	福祉課	0172-88-8197
大鰐町	保健福祉課	0172-55-7149
田舎館村	厚生課	0172-58-2111
板柳町	健康増進課	0172-73-2111

市町村名	担当部署	連絡先
おいらせ町	保健こども課	0178-56-4551
三戸町	健康増進課	0179-20-1152
五戸町	健康増進課	0178-62-7958
田子町	地域包括支援課	0179-20-7100
南部町	健康こども課	0178-60-7100
階上町	すこやか健康課	0178-88-2162
新郷村	厚生課	0178-61-7555

9 青森県保険者協議会

事業名	別紙のとおり
事業内容	
特記事項	
他機関・団体との連携状況	
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	
飲酒対策に関する取組	特定健診・特定保健指導に関する研修会にて、飲酒対策に関するリーフレット等の配付が可能。

○令和6年度健康づくりに関する活動計画

1. 青森県医療費適正化計画策定等への対応

青森県医療費適正化計画の実施について県へ協力する。

2. 研修の実施 ～ 特定健診・特定保健指導に関する研修

(1) 研修目的

特定保健指導対象者の健康に関する関心を高め、行動変容に繋げる保健指導技術の向上を図ることを目的とする。

(2) 研修目標

- ①第4期特定健診・特定保健指導の見直しの概要を理解することができる。
- ②特定健診・特定保健指導の評価体系を理解することができる。
- ③行動科学や行動変容の理論を理解し、特定健診・特定保健指導の取組を振り返ることができる。
- ④特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けたナッジの有効な場面と留意点を理解する。

(3) 主 催 青森県保険者協議会（事務局 青森県・青森県国保連合会）

(4) 開 催 日 8月23日（金）

(5) 開催方法 集合開催

(6) 研修対象者

県・市町村・医療保険者・特定保健指導実施機関等に所属する医師、保健師、管理栄養士、看護師、健康管理担当者、在宅保健師等の特定保健指導実践者

3. 特定健診等実施率向上に向けた取り組み

各医療保険者の特定健診等実施率向上のため、特に被用者保険の被扶養者が受診しやすいように次の取り組みを進める。

(1) 市町村国保の協力のもとに被用者保険の被扶養者の特定健診の機会が確保されるよう、各医療保険者の特定健診・がん検診実施予定等の情報共有を図る。

(2) 被用者保険の被扶養者の特定健診受診の環境づくりを検討する。

(3) 広 報（国保連合会広報事業を活用）

特定健診及び後期高齢者健診並びにがん検診を一体的に推進するため、保険者協議会の名入れも併せて行った受診勧奨PRポスターを国保連合会ホームページに引き続き掲載する。

(4) 令和7年度集合契約締結に向けた事務引継

翌年度の円滑な集合契約締結に向け、事務局立会いのもと代表保険者の事務引継を行う。

4. 医療費等の調査・検討

(1) 医療費適正化計画に資する医療費分析を実施する。

(2) 各医療保険者の特定健康診査等データを取りまとめ、集計結果を還元する。

10 青森県食生活改善推進員連絡協議会

事業名	かんたん野菜レシピ普及事業（県委託事業）
事業内容	<p>i 実施時期 R 6. 9月～R 7. 1月(38回程度)</p> <p>ii 実施場所 8保健所管内協議会（各4～5回）</p> <p>iii 対象者 一般県民（特に若い世代、働き盛り世代）</p> <p>iv 実施内容 県民、特に成人（若い世代）の野菜摂取量の増加を図るため、当会が県内各地で実施する各教室・自主活動において、簡単にできる試食の提供とレシピの配布・普及を図る。</p>
特記事項	新型コロナウイルス感染症予防対策の状況を踏まえて実施する。
他機関・団体との連携状況	<p>①令和6年度日本食生活協会からの委託事業のうち、若い世代の参加が見込まれる料理講習会で実施する。（親子の食育、ヘルスサポーター養成事業）</p> <p>②若い世代の参加が見込まれる他機関・団体に依頼し、事業実施する。</p> <p>③高齢者対象の事業は、対象外とする。</p>

事業名	乳幼児健診でのだし活減塩活動（県委託事業）
事業内容	<p>i 実施時期 R 6. 4月～R 7. 3月</p> <p>ii 実施場所 全市町村 300回予定（乳幼児健診） 40市町村×8～10回想定</p> <p>iii 対象者 健診に同行した保護者・参加者</p> <p>iv 実施内容 離乳食の時から薄味になれてもらうために、だしを活用することで、美味しく減塩することができることを理解してもらい、味覚が形成される前の乳幼児の保護者等を対象に「だし活」を伝道する。地産地消を推進する。減塩対策の推進を図る。</p>
特記事項	令和6年度は、試食提供はしない。「できるだし」の試供品、「だし活」PRパンフレット(おいしいだしがとれる県産食材を紹介)の配布と試飲(こんぶだし)、アンケート調査を行う。
他機関・団体との連携状況	県内各市町村行政と相談のうえ、協力して実施。

11 青森県保健協力員会等連絡協議会

事業名	
事業内容	別紙のとおり
飲酒対策に関する取組	特になし

令和6年度保健協力員研修会開催要領

1. 目 的

地域住民の健康の保持・増進を図るために活動している各市町村保健協力員が一堂に会し、健康づくりリーダーとして必要な知識の習得と相互研鑽の機会とし、もって、本県の平均寿命・健康寿命の延伸に寄与する。

2. 共 催

青森県・青森県保健協力員会等連絡協議会・青森県国民健康保険団体連合会

3. 日 時

令和6年5月30日（木） 13時15分～15時30分

4. 場 所

リンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール） ※会場案内図別添
青森市柳川1丁目2番14号 TEL 017-722-3770

5. 参 集 者

市町村関係者（保健協力員、国保・保健関係職員、保健師）、
職域関係者、県関係者（健康福祉部各課・地域県民局 地域健康福祉部保健総室職員）、
保険者協議会関係者、青森県在宅保健師の会会員

6. 研修内容（日程表別紙のとおり）

（1）活動発表

「短命県返上のための次の一步」

座 長 国立大学法人弘前大学学長特別顧問・
大学院医学研究科社会医学講座特任教授・
青森県総合健診センター理事長・
青森県医師会健やか力推進センター長 中路 重之 氏

「大間町保健協力会活動の紹介」

活動発表者 大間町保健協力会会長 佐藤 恵美子

「弘前市健康づくりサポーター活動発表」

活動発表者 弘前市健康づくりサポーター連絡協議会会長 成田 津江

（2）行政説明「第三次青森県健康増進計画（歯・口腔の健康）の推進について」

説 明 者 青森県健康医療福祉部がん・生活習慣病対策課・
青森県口腔保健支援センター副参事 金澤 孝彦

（3）講 演「お口の病気が全身の健康に与える影響について」

講 師 国立大学法人弘前大学大学院医学研究科歯科口腔外科学講座教授・
弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科科長 小林 恒 氏

令和6年度の健康づくりに関する活動計画

1. 事業内容について

(1) 保健協力員研修会の開催

- ・開催要領
 - ・日程表（当日配付資料より）
 - ・講師プロフィール（当日配付資料より）
- } 別添

(2) 『青森県保健協力員ハンドブック 第4版』の作成・配付

(3) 模範的活動の紹介・普及

(4) 意見交換

○県統一活動目標とスローガン

①活動目標：健（検）診受診率アップ

スローガン：「あなたの声かけで 新たに健（検）診受診者を 3人増やそう！」

②活動目標：組織強化を図り、保健協力員等の活動を活性化させる。

スローガン：「仲間を増やして 健やか力をアップしよう！」

2. 他機関・団体との連携状況について

○保健協力員研修会の開催

例年県、国保連合会、当協議会との共催により研修会を開催し、活動発表の座長を弘前大学 中路先生にご協力いただき、各市町村保健協力員、関係機関・団体等の知識の習得と相互研鑽の機会としている。

3. 他機関・団体との連携希望、依頼事項

今後も引き続き、関係機関・団体のご協力をいただきたい。

7. 参加報告

別添「令和6年度総会・保健協力員研修会参加者報告書」に必要事項を記入のうえ、
令和6年4月22日（月）までにFAXで報告願います。

【報告先】青森県国民健康保険団体連合会 事業振興課 保健事業係
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 県共同ビル3階
TEL：017-723-1336 FAX：017-723-1095

8. 特記事項

- (1) 同日12時30分～13時15分まで研修会場において、令和6年度青森県保健協力員会等連絡協議会総会を開催しますので御出席くださいますようお願いいたします。
- (2) 会場のホール内は飲食が禁止されているため、本会では昼食を用意いたしませんので、各市町村で対応くださるようお願いいたします。
- (3) 駐車場は、会場周辺の有料駐車場をご利用ください。 **※会場周辺駐車場案内別添**
- (4) 貸切バスでご来場の市町村は、別添「貸切バスご利用時のお願い」の記載事項にご協力ください。また、貸切バスご利用の有無等について別添「参加者等報告書」でお知らせください。

青森県保健協力員会等連絡協議会令和6年度総会 並びに令和6年度保健協力員研修会 日程表

期日：令和6年5月30日（木）

場所：リンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール）

時 間	内 容
11:30	受 付
12:30 (45分間)	<p>【青森県保健協力員会等連絡協議会令和6年度総会】</p> <p>開 会 主催者挨拶 青森県保健協力員会等連絡協議会会長 小笠原 千 ヨ 来賓祝辞 青森県知事 宮 下 宗一郎 氏 青森県在宅保健師の会会長 新井山 洋 子 氏</p> <p>議 事</p>
13:15 (55分間)	<p>【令和6年度保健協力員研修会】</p> <p>活 動 発 表 座 長：国立大学法人弘前大学学長特別顧問・ 大学院医学研究科社会医学講座特任教授・ 青森県総合健診センター理事長・ 青森県医師会健やか力推進センター長 中 路 重 之 氏</p> <p>「大間町保健協力会活動の紹介」 活動発表者：大間町保健協力会会長 佐 藤 恵美子</p> <p>「弘前市健康づくりサポーター活動発表」 活動発表者：弘前市健康づくりサポーター連絡協議会会長 成 田 津 江</p> <p>「短命県返上のための次の一歩」 中 路 重 之 氏</p>
14:10 (10分間)	休 憩
14:20 (10分間)	<p>行政説明 「第三次青森県健康増進計画（歯・口腔の健康）の推進について」 説 明 者：青森県健康医療福祉部がん・生活習慣病対策課・ 青森県口腔保健支援センター副参事 金 澤 孝 彦</p>
14:30 (60分間)	<p>講 演 「お口の病気が全身の健康に与える影響について」 講 師：国立大学法人弘前大学大学院医学研究科歯科口腔外科学講座教授・ 弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科科長 小 林 恒 氏</p>
15:30	閉 会

講師プロフィール

令和6年4月1日現在

こばやし わたる
小林 恒 氏



昭和36年 北海道函館市生まれ
昭和62年 北海道大学歯学部卒業
歯科医師国家試験 合格
平成3年 弘前大学大学院医学研究科 修了（医学博士）
平成3年 弘前大学医学部歯科口腔外科学講座助手
平成4年 弘前大学医学部歯科口腔外科学講座講師
平成9年 連合王国ロンドン大学医学部顎顔面外科留学
平成12年 弘前大学医学部歯科口腔外科学講座 助教授
平成19年 弘前大学医学部歯科口腔外科学講座 准教授
平成27年 弘前大学医学部歯科口腔外科学講座 教授

所属学会等

日本口腔外科学会（理事）
日本口腔科学会（理事）
日本小児口腔外科学会（理事）
日本口腔腫瘍学会（評議員）
体力栄養免疫学会（理事）
日本口腔インプラント学会（評議員）
頭頸部癌学会（評議員）
有病者歯科医療学会（代議員）
口腔がん撲滅委員会（理事）

専門

口腔がん

役職

青森県歯と口の健康づくり推進協議会 委員

12 日本健康運動指導士会 青森県支部

事業名	各会員の個別の健康運動普及の活動
事業内容	<p>新型コロナ後、会としての活動はなく、会員が個々に活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体での講師活動：各市町村からの依頼、各団体：県老連、企業、市民センター事業など ・QOL 健診への協力 ・健康リーダー養成事業協力 ・生協事業への協力 ・学校共済事業への協力など
特記事項	
他機関・団体との連携状況	健やか力推進センターQOL 健診
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	すべての団体
飲酒対策に関する取組	健康運動実践の休憩中にお話ししている。

13 青森県農業協同組合中央会

事業名	<p>①認知症サポーター養成講座 ②くらしの活動研修会</p>
事業内容	<p>①認知症サポーター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> i 実施時期 令和7年3月（予定） ii 実施場所 青森県農協会館 iii 対象者 JA青森中央会、JAバンク青森、JA全農あおもり、JA共済連青森、(株)青森県農協電算センター（関係団体職員） iv 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・講座 テーマ：「認知症を正しく理解しよう！」（仮題） 【講師】青森市内地域包括支援センター職員 <p>②くらしの活動研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> i 実施時期 令和7年2月（予定） ii 実施場所 青森県農協会館 iii 対象者 JAくらしの活動担当部課長・担当者、生活指導員、女性部事務局等 iv 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・講座 テーマ：「健康増進体操・介護予防等について」（仮題） 【講師】未定

14 青森県漁業協同組合連合会

事業名	職員の健康づくり推進
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のラジオ体操実施 ・人間ドッグ受診を推奨 (35歳以上の職員に対し受診料の助成、特別休暇での受診) ・血圧計や体重計の設置による健康状態の把握推奨 ・その他健康に関する情報提供(冊子・チラシ等の配布、回覧)
特記事項	
他機関・団体との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・職員互助会等によるスポーツイベントへの参画
飲酒対策に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者の選任 ・管理者による運転者の運転前後のアルコールチェックの実施 (目視とアルコール探知機による酒気帯びの有無を確認、点呼記録簿の作成)

15 青森県商工会連合会

事業名	働きやすい職場づくりに向けて
事業内容	商工会事務局の総括責任者としての役割を担う事務局長向けに「働きやすい職場づくり」をテーマとしたハラスメント及びメンタルヘルス対策等について情報提供する研修を開催する。
特記事項	
他機関・団体との連携状況	
飲酒対策に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールチェックの義務化に伴い、アルコールチェッカーを完備。酒気帯びのチェックをしている。 ・職員会議において、交通法規の遵守と飲酒運転を防止する取組について話し合いをしている。職員ひとりひとりに飲酒運転防止マニュアルの配布。

16 青森県商工会議所連合会

事業名	会報紙による啓発活動
事業内容	県と連携し、商工会議所会報紙に、毎月テーマを変えてヘルスリテラシーの向上を図るための広報を行っている。
特記事項	アクサ生命保険との連携による「健康経営セミナー」を随時開催(商工会議所会員企業向け)

他機関・団体との連携状況	県（健康医療福祉部）の協力をいただいている。
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	引き続き県の協力をいただきたい。
飲酒対策に関する取組	商工会議所会報誌で「お酒との付き合い方」というテーマで掲載（2023年12月号）し、周知を図った。

17 青森県PTA連合会

事業名	食育活動サポート
事業内容	年間を通して県学校給食会と連携しながら、学校における食育活動等（PTA主催）に取り組んでいる。 ①給食試食会 ②栄養教諭による食生活の講話等
特記事項	
他機関・団体との連携状況	県学校給食会とタイアップして、食育活動の普及の啓発に取り組んでいる。

18 青森県私立幼稚園連合会

事業名	青森市私立幼稚園協会冬季教員研修会 (計画未定のため前年実施分)
事業内容	i 実施時期 ii 実施内容 新しい時代をのびやかに生きる ～社会に開かれた質の高い幼児教育を～ 講座 「なぜ運動するのか」 講師 一般社団法人 BLUE TIES IMPRESSION 代表理事 ライプチヒ大学後任コーディネーション トレーナー 川戸 元貴氏
特記事項	上記の研修を受けた後、当園（聖アルバン幼稚園）では参観日に運動を取り入れ、保護者の方にも動きやすい服装でのご参加をお願いし、身の回りにあるものを使って、楽しく運動できることを提案した。
他機関・団体との連携状況	

19 青森県保育連合会

事業名	令和6年度給食・食育研修会
事業内容	期日：令和6年10月16日（水） 場所：ホテル青森 対象：給食担当（栄養士・調理師・調理員）用務員及び施設職員 内容：保育実践と一体となった食育の推進に受けて（仮）
特記事項	
他機関・団体との連携状況	

20 青森県老人クラブ連合会

事業名	令和6年度青森県老連健康福祉大学校
事業内容	<p>下記3会場（1会場9回）</p> <p><平内町></p> <p>i 実施時期 令和6年6月7日（金）～10月25日（金）</p> <p>ii 実施場所 平内町勤労青少年ホーム 他</p> <p>iii 対象者 開催市町村及び近隣の市町村の高齢者</p> <p><階上町></p> <p>i 実施時期 令和6年7月5日（金）～11月8日（金）</p> <p>ii 実施場所 階上町 ハートフルプラザはしかみ 他</p> <p>iii 対象者 開催市町村及び近隣の市町村の高齢者</p> <p><八戸市></p> <p>i 実施時期 令和6年8月6日（火）～12月18日（水）</p> <p>ii 実施場所 八戸市総合福祉会館</p> <p>iii 対象者 開催市町村及び近隣の市町村の高齢者</p> <p><実施内容></p> <p>国及び県の補助金を活用して、開催地及び近隣の市町村の高齢者を対象に、健康づくりを中心に地域活動を推進する総合的なリーダーを養成する。（受講生1会場20～33名）</p> <p>カリキュラムは添付資料1参照。</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・会員以外の高齢者も受講できる。 ・同世代の仲間づくりに良い事業である。 ・地域共生社会の担い手育成につながる。
他機関・団体との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地市町村社会福祉協議会と連携しながら、会場確保、講座内容を決定する。 ・開催地自治体、保健師、介護支援専門員、薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、健康運動指導士等の職能団体と連携しながら、講師の派遣を依頼している。
他機関・団体との連携希望、依頼事項等	開催地市町村の広報誌及びホームページ等での学生募集周知、講師派遣の協力など。
飲酒対策に関する取組	・パンフレットや資料などの提供があれば、参加者に配布したい。